

広報 いまり

No. 404



伊万里でいちばんの笑顔 (9/12)

黒川町椿原の山口タカさん(99歳)は伊万里一の長寿者。今でも源氏物語を読んだり、編み物をしたりとても元気です。竹内市長は敬老の日を前にタカさんを訪問し、編み物用の毛糸をプレゼントしました。 M 21.8.20生

62

10月

特集

ねたきり 痴呆性 老人をかかえて



「言葉で言えないほどうれしい…」

巡回入浴サービスを受ける二里町大里の梅崎徳次さん(73歳)。7年間ねたきりの徳次さんを介護する奥さんの冨江さん(71歳)は「代わりに介護してくれる人がいないので子どもの所へも行けないし、病気にもなれない」とその悩みを話されました。

男75.23歳、女80.93歳、これはことしの7月厚生省が発表した日本人の平均寿命です。

高齢化が進む中で、元気な老人が増える一方、ねたきりや痴呆性など介護を必要とする老人も確実に増えています。介護が必要な老人をかかえる家庭では、外出できない、睡眠不足になるなどの厳しい生活を余儀なくされています。

今老人と無関係な人、やがて老人になる若い世代の人たちとともに、避けて通れない高齢化社会における老人介護の現実を考えてみましょう。

外出できない・睡眠不足に…

悩む介護人

人口の高齢化が進む中で、病气やねたきり、痴呆性などの病弱な老人が高齢になるに従って多くなっています。

75歳以上の人口の伸びが著しいことから、ねたきり老人や痴呆性老人の出現率が現状のまま進むとすれば、ねたきり老人が昭和60年には60万人だったのが、13年後の75年には100万人を超え、痴呆性老人も59万人が120万人に達すると推計されています。介護を必要とするねたきりなどの老人が全国的に増えているのと同様に伊万里市も例外ではなく、高齢化現象も国を上回る中で何らかの形で介護を求める老人が増えています。

佐賀県は、昨年11月高齢者のひとり暮らしと高齢者だけの世帯、高齢者と18歳以下の世帯を対象とした高齢者福祉需要実態調査を行いました。この調査結果によると、何らかの授護が必

65歳以上の健康指数

(単位：%)

項目 年齢	健康度	ねたきり率	痴呆性老人出現率
60～64	78.9	0.95	—
65～69	69.0	1.74	1.2
70～74	64.0	2.93	3.1
75～79	59.4	4.81	4.7
80～84	(80歳以上) 54.1	8.74	13.1
85歳以上	54.1	15.58	23.4
65歳以上平均	63.2	4.22	4.6

(資料：昭和61年版厚生白書)

要とされる調査対象世帯の高齢者は、県で2万3,014人、65歳以上人口の20%、伊万里市で2,006人、同14%でした。このうち健康な高齢者を除いた病弱、ねたきり、重度身障者、痴呆性の老人は県で1万69人、同8.8%、市では834人で同9.3%に上っています。このような実態の中で、介護者は「外出できない」「仕事に出られない」「睡眠不足になる」などの悩みを訴え、介護を受ける老人は「家庭奉仕員の派遣」「在宅での入浴、給食などのサービス」「介護者から介護を受けられないときの短期的な施設入所」などの福祉サービスを希望しています。

国、県を上回る高齢化

昭和60年 7人に1人は65歳以上

人口の高齢化を示す指標として使われる65歳以上人口の総人口に占める割合が、昭和60年には10.3%に達しました。

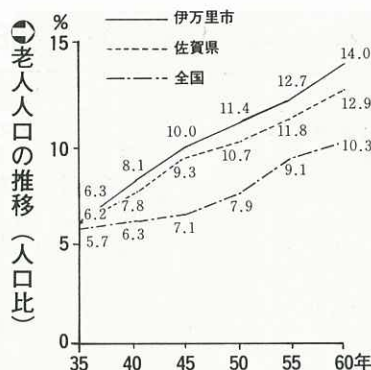
厚生省人口問題研究所の将来人口推計によると、65歳以上人口は、13年後の75年には16.3%、34年後の96年には23.6%となり全人口の4人に1人は65歳以上ということになります。

また65歳以上の中でも75歳以上の後期老年人口の伸びが大きく、60年で471万人だったのが38年後の100年には1,737万人と4倍近くに増え、総人口の8人に1人は75歳以上で占める高齢社会になると予測されています。

佐賀県と伊万里市については数字的に将来人口を推計した資



料がないので統計資料から数字を追ってみると、65歳以上人口の割合は、全国で60年に初めて10%を超え10.3%になったのに比べ、佐賀県では50年に10.7%、さらに伊万里市では45年に10.0%になり、市は全国より15年も



早く高齢社会を迎えていることになります。そして60年には県で12.9%、市は14.0%と全国の10.3%を大きく上回り、市の人口の7人に1人は65歳以上ということになります。

65歳以上人口の伸び率は、35年はほとんど差がなかったのが、60年を比べると、全国で1.94倍の伸び率に対し、県では2.34倍、市では2.59倍と全国よりさらに速いテンポで高齢化社会が進んでいることを示しています。

せめて農繁期だけでも……

ぼけが出ている85歳になるおばさんの面倒を見ている
Aさん (56歳 男性)

1日として気持が落ち着く日がありません。排便の自由がきかないのでほうっておくとあちこちにしてしまう。紙おむつはむしりあってしまったり、お経さんの本や帯じめなんか小さく引き裂いてしまったり。ストーブにおいていたふきを燃やしたり、夜家の周りをぐるぐる歩き回ることもあります。危ないので火気は取り上げ、出かけるときは外からかぎをかけています。かわいそうだけれど仕方がないんです。

着がえをさせようとする

「私を殺す気か」と言われたり、「物が無くなった」と言われたり、いちばん苦労しているのは直接身の回りの世話をしている女房だと思います。おばあちゃんの世話で仕事に間に合わないときは私が代わりに行ったりもします。

年寄りをそまつにすれば自分もそまつにされる。昔から年寄りを見るのは順送りになっている。だれかが面倒をみなければと女房とも話し合っていますが、せめて農繁期だけでも施設で預ってもらえれば……

法事にも行けない

15年間ねたきりのご主人を
介護するBさん(62歳 女性)

主人が47歳のときからですからもう15年間ねたきりの状態です。話はわかりますが、口がきけません。去年入院しましたが、84歳になるおばあちゃんもうろくして嫁が仕事に出られなくなったので家へ連れて帰って来ました。

つきっきりなので外出もできなくて、親の法事にも行きません。今介護指導を受けていますが、1人ではやりにくいシーツかえなどとても助かります。床ずれを早くなおして入浴サービスを受けさせてあげたい。

老人に対する日常生活の援助

事業名	内容
家庭奉仕員の派遣	日常生活に支障のあるおおむね65歳以上の老人のいる家庭で、家族が老人の介護を行えない場合、身の回りのお世話をするために家庭奉仕員を派遣します。週2回程度
巡回入浴サービス	長期にわたりねたきりの65歳以上の老人のいる家庭に入浴サービス車を派遣します。月2回程度
施設入浴サービス	在宅の65歳以上の老人が 自宅で入浴することが困難なときに特別養護老人ホームなどの施設を利用して、入浴とリハビリテーションを行います。2週間に1回
ねたきり老人へ紙おむつを支給	在宅の65歳以上のお年寄りで、常時失禁状態にある人で、生活保護世帯及び所得税非課税世帯に属する場合1日2枚を支給します。
日常生活用具の給付	おおむね65歳以上のねたきりの老人のいる低所得の家庭（世帯の全員が所得税非課税であること）に特殊寝台、マットレス、便器などの日常生活用具を給付します。
ひとり暮らし老人へインターホンを貸与	ひとり暮らし老人が社会的に孤立することを防ぐためインターホンを貸与します。
老人福祉電話を貸与	65歳以上のひとり暮らし、または65歳以上の老人だけの家庭で、生活保護を受けているか低所得の家庭に電話を貸与し、基本料金を助成します。
ねたきり老人短期保護	ねたきり老人を介護している家庭が病気、出産、事故などで介護が困難になったとき、7日間を限度として特別養護老人ホームに一時的に保護します。

※詳しいことは、福祉事務所福祉係へお尋ねください。(☎23111 内線268)

弾力的な老人対策を



市福祉事務所
福祉係

井 之 一 行

高齢化社会を迎え、老人対策が重要になってきています。現在国県の制度に加え、市独自の施策を進めています。制度が十分でない面もありますが、ひとり暮らし、ねたきり、痴呆性老人などさまざまなケースがあり、対応に苦勞する場合があります。これからの老人対策は弾力的に運用できる制度を作る必要があると思います。それに40代など若いときからの健康管理、地域やボランティアの皆さんの援助がとても大事だと思います。

善意に支えられて

家庭奉仕員

永田カツ子さん(43)

おじいちゃんはやっと起きれる程度、おばあちゃんは耳が聞こえないほかは元気です。月に一度は県外に嫁いでいる娘さんが来て、2、3日泊まり、家の中の整理やお金の面倒をみていわれます。牛乳屋さんが必ず声をかけたり、台所のゴミは近所の方が出したりで、まわりの人たちの善意に支えられ、本当に恵まれていると思います。私が「帰るよ」と言うと「帰るな。今度いつ来る」と私の手を引いて離しません。こんなときは胸が熱くなります。



①福田辰蔵さん(山代町鳴石89歳)フサさん(86歳)夫婦とお世話するようになって3年になる永田さん



②特別養護老人ホーム長生園で入浴のあとリハビリを受ける小島さん

入浴が一番の楽しみ

黒川町浦分

小島 八郎さん(74)

昭和40年に倒れ、22年間ねたきりの生活です。去年の10月から2週間に1回、施設入浴サービスを受けています。ねたきりになって以来20数年黒川町を出たことがなかったので、伊万里の変わりようにびっくりしました。浦島太郎になったような気持ちでした。今ではこの施設入浴が一番の楽しみで、ゆっくり風呂に入り、食もすすむようになりました。車にのったり風呂に入ったりして自然に体を動かしているのがいいのか、動かなかった腕が動くようになりました。

ボラントピア事業指定記念

どうぞ お達者で

第16回 老人福祉大会

ボラントピア事業指定記念第16回老人福祉大会が、9月4日市民会館で開かれました。大会には市内の老人クラブから1,000人が参加し、会場は満席になりました。竹内市長のあいさつや来賓の祝辞のあと南波多保育園の前田真司くん（6歳）と三塩里佳ちゃん（5歳）から「いつもお世話していただいてありがとうございます。いつまでもお元気で」とかわいなお祝いのことばと花束が贈られました。

長寿横綱は

山回タカさん(99歳)

今年、市内での最高齢者は黒川町椿原の山口タカさん（99歳）です。ベストテンはすべて女性で占められ、男性の最高齢者は松島町の大串清好さん（95歳）で、全体では13位でした。95歳以上は22人で、そのうち男性は2人にすぎません。相変わらず女性上位が続いています。

市内でのベストテンは次のとおりです。

（9月1日現在、敬称略）

- 99歳 山口タカ（黒川町椿原）
- 98歳 平山イワ（大川町駒鳴）
- 〃 松高ソノ（南波多町古里）
- 〃 岡部サヤ（瀬戸町漁港）
- 97歳 大久保ハツ（大川町長野）
- 〃 中尾イヨ（大川町井手口）
- 〃 渡邊リハ（黒川町清水）
- 96歳 川原セン（東山代町滝川内）
- 〃 野口ハル（大川内町小石原）
- 〃 力武トメ（柴町）



◎ていねいに作り上げられた作品

趣味の作品展

会館ロビーでは趣味の作品展が行われました。手芸や工芸など126人から214点が出品され、丹精込めて作られた作品は来場者の目を集めていました。

作品展の入賞者は次のとおりです。（敬称略）

- 〈入選〉東島ユキ（大坪中ク）
- 山田キミ（大坪西ク）松尾露子（南波多ク）森田喜志雄（大久保ク）杉谷ミエ子（福住ク）
- 山田ヨシ（大久保ク）堀田ヌイ（大川ク）田中正雄（波多津ク）
- 青木幾治（黒川西ク）小杉東藏（波多津ク）福田幸次郎（川東ク）
- 東島俊之（円造寺ク）松尾ハツヨ（大川ク）古賀三吉（大坪西ク）

◎川添さんの会員発表は笑いのうず



会員発表では、池田久利さん（牧島中部老人クラブ、67歳）が「皆さんの頑張りには教えられることばかり」とクラブに入会しての感想が、また川添一さん（南波多老人クラブ、73歳）からは「年金片手に100歳まで生きよう」と老人の暮らしを歌詞にした楽しい歌が発表されました。

午後からは、この日のために練習を重ねた歌や踊りが披露され、にぎわいました。



◎男性の最高齢者大串清好さん(95歳)を訪問

◎演芸発表はうたやおどりでにぎわいました。



下水道の負担金条例は継続審議

昭和62年 第3回定例市議会

伊万里市議会第3回定例会が、9月8日から24日まで17日間開かれました。

提出された議案は、国の景気対策による公共事業費や台風12号などの災害復旧費の追加などの予算議案8件、来年3月末供用開始予定の公共下水道の使用料や受益者負担金を定める下水道条例などの条例議案5件など合わせて30件が審議されました。



審議中の建設委員会

松浦鉄道(株)出資金等2,417万円

一般会計予算は、10億9,963万円を追加して、予算の総額が155億5,823万円になりました。

今回の補正の主なものは、長雨や台風12号による災害復旧費に1億2,146万円、国の景気対策による道路改良、土地区画整理事業などの公共事業費に1億7,450万円、伊万里情報センター株式会社に対する62年度の出資金3,500万円、本年10月第三セクター方式により新会社設立が予定されている松浦鉄道株式会社に対する出資金、出えん金合わせて2,417万円、過大規模校の伊万里中学校を分離するための新中学校の基本設計費341万

円を追加しました。

このほかの主な補正は、次のとおりです。

- 農業構造改善事業費 5,062万円
- 林業構造改善事業費 3,946万円
- 漁港建設事業費 1,000万円
- 道路の改良舗装事業費 7,690万円
- 道路の維持補修費 2,000万円
- 交通安全施設整備事業費 2,400万円
- 青少年育成コミュニティ事業費 270万円
- 県営事業負担金(広域農道、道路改良など)2億1,466万円

下水道の使用料を定める条例は可決されましたが、受益者の負担金を定める条例は継続審議になりました。

使用料は基本料金と段階別の累進使用料の併用体系で、基本料金が10万円以下まで800円、超過料金は10万円を超えると1万円につき20万円以下まで100円、50万円以下まで150円、50万円を超えれば200円となります。受益者負担金は、対象区域内の土地1平方メートル当たり450円です。

また国見台陸上競技場が全天候型競技場に改修されましたので、現行の使用料を改めるため使用料条例が改正されました。

たが、地方都市のホテルは相変わらず管理や補修が行き届かず、私の泊ったところでも洗面所にお湯が出なかったり、お風呂の栓がこわれたままで、シャワーだけで済ませたりしたところもあった。

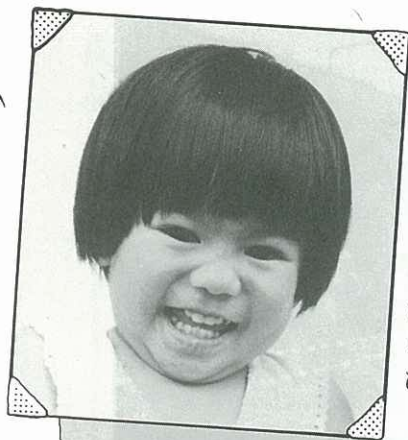
公式の熱烈歓迎には学ぶところも多いが、売店などの売り子はサービスが悪く、ひまのかかることなどもそのままである。

中国は広いので移動するのに時間を要し、昼休みが二時間のため昼からの訪問は二時半以後でないとい面会ができず、その上食事の時間がかかって、日程にロスが多く、いきおいハードスケジュールになってしまふ。

人間の多いのは変わらないわけで行楽地はどこもいっぱいの人出に驚くが、生活費が安いので安定しており、老後も保障されているので皆が生き生きと張り切って生活している。

訪問した官公署も以前に比べて非常に若返っていて、これまで変わらなかった面が変わり始めると中国は大きな力をもって前進するようになることが察せられる。

(竹内)



★わが家のPOPOPO★

前田 紘子ちゃん
(1歳6か月)
正信・道子さんの長女
お兄ちゃんと自転車に乗るのが大好き。まだバイバイしか言えないけど、すぐにおしゃべりひろこちゃんになるヨ。
(南波多町大川原)

ほほえみひろは

この広場はみなさんのページです。
あなたの声をお寄せ下さい。

※申し込みを順次受け付けています。

アメリカからの便り 農業研修に頑張っています



黒川町横野
前田 忠夫
さん (24)

今、私は3か月の短期農場実習中でワシントン州のブリュースターという町にきています。近くにはコロビア川が流れる静かな所で、クレーン&クレーンという農園に4人で配属されました。この短期実習はアメリカでの農作業に慣れるため、ワ

シントン、オレゴン、アイダホ、カリフォルニアの4州にわかれ専攻外の果樹と野菜だけの実習です。ここクレーン&クレーン農園はりんご350エーカー、なし110エーカーとチェリー30エーカー、それにパッキング工場まで持っている大きな農園です。
(中略)

今までに何回か町で知り会った人に招待され、よくしてもらいました。みんな陽気で、親切な人が多いです。

今後のプログラムは、10月い

今年の6月、2年間の農業研修生として肉牛を学びにアメリカへ派遣された前田さんから元気な便りが届きました。

っぱい短期実習をやり、またビッグベンドコミュニティカレッジへもどり、2か月授業を受け自分の専攻である肉牛の方の長期実習(14~15か月)に入りますが、その間に3か月間、ネブラスカ州立大学へホームステイしながら通うことになっています。帰国は2年後の6月で今のところ目標は早く英語をマスターすることと、アメリカの土地、人間に慣れることです。とにかく、仕事に勉強、遊びと精いっぱい頑張ろうと思います。

郷土の文化財

〈指定文化財 No.10〉

南波多町府招地区に伝承される府招浮立は、県の西北部から長崎県北部にかけて伝わる踊り浮立の一種で、浮立奥義秘書なども伝えられています。

府招浮立の曲目は、御神、三番、式三番、振綾、踊奴など33曲目からなり、33囃子または本浮立と呼ばれています。このほかこれを奉納する神社に着くまでに演じる道行浮立があります。囃子方は12~13人、鉦打7~8人、地囃子10人で壮年男子が演じ、踊り手は少女です。

各曲目には表と裏があり、1曲目は約20分間で、全曲目を上演するには12時間もかかります。府招地区では、毎年10月10日、氏神権現社の祭典に奉納されています。

(県重要無形民俗文化財43.4.23指定)

府招浮立



あの人この人 No.65
西日本俳句大会で
知事賞を受賞された
浦郷ひろやさん(64)



浦郷さんは、伊万里ホトトギス会(中島不識洞会長、30人)の主催する第41回西日本俳句大会で、3句で7人の選者による最高得点を獲得し、知事賞を受賞されました。

浦郷さんは、昭和27年から毎年、年末にその1年間につくった句の中から入選した句や自分の気に入った句を別のノートに整理されています。年間大体

600~700句をつくり、整理するのは大体80~100句になるそうです。自分ながらまあ満足できる句は10句あればいい方だそうです。整理したノートを引っ張り出して昔つくった句をみると、おかしくて冷や汗が出るようですと苦笑いされ、「俳句を始めてから、それまで気がつかなかった自然の移り変わりなどに敏感になり、道端の一木一草にも愛着を感じるようになっていくような気がします。俳句をつくる時は、まず自分が裸になって自然に対する。そこからはじめて自然に対する感動が生まれてくるのではないでしょう」と話されました。

受賞された句の一句
陶工の古りし寄せ墓秋の蟬



中島 佐津子さん(19)

大坪町上古賀(O型、双子座)

山口病院に今年4月から勤めるフレッシュウーマン。保育園のときから看護婦さんにあこがれて望みどおりにりましたが現実はキビシイ。午後4時までは看護学校に通い、そのあと7時まで勤務のハードスケジュール。疲れて、前の夜から翌日の昼の3時まで眠りこけていたこともあるそうです。

剣詩舞を習う子どもたち

大川町宿にある淀姫神社の境内で剣詩舞教室が開かれています。田中房子さん(38歳)が去年の11月から始めたもので、近所の小学2年生から4年生の5人と主婦1人が毎週土曜日の午後練習に励んでいます。

剣詩舞は、詩吟にあわせて主に剣や扇をもって踊り、日本舞踊よりも重心が低く、男性的な踊りです。足腰を使うので健康にも良いそうです。

9月23日、淀姫神社で行われる秋の例大祭がみんな

の初舞台になるそうで、今懸命に練習を積んでいます。大坪智美ちゃん(小3)は「まちがわないように踊りたい」と、ただ一人の男子、本田豊史くん(小3)は「結婚式で踊ったことがあるので自信がある」と胸を張って話してくれました。



四季の詩

柿を食ふ
そこより小言
こぼれをり

脇田町

久保田正敏

秋日和
つづきて遠き山裾の

田よりひびけるコンバインの音

大川町戸石川

下平 文子



わがまち自慢

題字は竹内通教市長

NO.4

南波多町のシンボル

大野岳

わが町のシンボル大野岳は、その一部が黒川町にまたがる標高424mの山で、山頂からは北に玄海灘、壱岐、対島、東に作礼山、天山、西に伊万里湾、平戸島、南はるかに雲仙や多良岳と、その眺望はすばらしいものです。

また歴史的にも防人の山として国土防衛に重要な役割を果たしてきました。今では自然公園として町民憩いの山となっています。20年来のつつじ1万本が、5月ともなれば山一面に彩どり、町をあげてのつつじ祭りが催されます。南波多和牛のパーベキューや名産なしワイン、名物の防人けいらんなどが店頭に並び、憩いを求めて登ってくる人たちがたいへんにぎわいます。山頂

近くには、わが町を一望できる場所にふるさとの守り神としての地藏尊も建立され、町民のあつい信仰を集めています。

この自然公園は、昭和43年に町内の各種団体

と南波多中学校の生徒の皆さんが区域を分担して植樹し、今でも年に2回は下払いをして、競いあってりっぱなつつじを育てています。昭和59年には桜の木120本も植えられ、桜の名所となるのも間近ではないかとみんな楽しみにしています。

果樹の産地として生まれ変わっ



♡自慢する人



井本 妙子
さん(57)
南波多町井手野
(主婦)

た南波多町は、大野岳をシンボルとし、山のふところに抱かれ大きな恩恵に浴し、朝に夕に眺めては心身ともに安らぎ、また明日への力となってフルーツの里日本一のなしづくりを目指しています。また将来は、ステーキとワインの里の名所にもしよう頑張っています。

商工会議所跡地利用

作文、絵を募集中

広報いまり8月号で「街づくりへ第一歩 東新町商店街」を紹介しましたが、市商店街連合会（北古賀幸造会長）と東新町商店街協同組合（重松清太郎理事長）は、伊万里商工会議所跡地（総理府の土地を含む）の土地有効利用計画についての作文、想像画、イメージ図を募集しています。

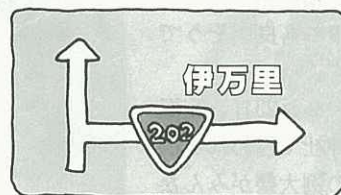
- 作文（論文） 年齢制限なし 原稿用紙で800字以内
- 想像画 幼稚園、保育園児、小中学生、高校生
- イメージ図 年齢制限なし
- 応募期限 11月10日
- 応募先・問い合わせ先 市商店街連合会事務局（新天町伊万里商工会館内

☎23111)

道路標識週間

10月5日～11日

道路標識は、道路を安全に、快適に利用するための大切な施設です。この機会に近くの道路標識を見直してみませんか。





'87 ジャンボリーいまり (9/4~6)

伊万里商工会議所（野村恭一郎会頭）の創立40周年を記念して伊万里市総合物産展「'87ジャンボリーいまり」が9月4日から6日までJR上伊万里駅前のみかん選果場やJR伊万里駅前広場で開かれ、約2万5,000人の人出でにぎわいました。

◎家族連れが目立った会場



◎ヤッホー、銀河鉄道スリーナインだ(伊万里駅構内)



障害者雇用促進 街頭PR (9/3)

佐賀県心身障害者雇用促進協会などで主催する障害者の雇用促進街頭PRが、9月の雇用促進月間にあわせ行われました。

街頭PRには関係機関と事業所から63人が参加し駅通り商店街から本町商店街、銀天街を行進しながら健常者の温い理解と障害者の雇用促進を呼びかけました。

小中学校夏季創作品展 (9/11~15)

第23回市小・中学校夏季創作品展が9月11日から15日まで、伊万里玉屋で開催されました。創作品展には、小・中学校26校の1,446人から1,436点の力作が出品されました。

子どもたちが夏休みに一生懸命に仕上げた習字や図画、工作、標本などに、会場を訪れた出品した子どもの両親や買物客は目を細めていました。



◎夏休みの力作がズラリ、1,436点を展示



国見台陸上競技場 全天候型でオープン

完成したばかりのトラックで行われた
中学生の四百メートルリレー

10月3日、4日に開催される
炎のまつり第40回記念佐賀県民
体育大会の主会場となる国見台
陸上競技場の改修工事が完了し、
9月20日しゅんこう式が行われ
ました。同競技場は、昭和38年
に建設され、第3種公認陸上競
技場として利用されてきました
が、シンダートラックのため雨
天の場合使用しにくいことや第
2種公認を受けて大きな大会が
開けるようにと、県体を機にス
ポーツ都市として施設の充実を
図るため改修を行ったものです。
新しいトラックはアスファル
ト系の弾性のある全天候型のレ

ズライト舗装で、総事業費8,700
万円をかけて改修されました。
またこれにあわせて管理棟も総
事業費5,790万円をかけて改築
中で、事務室や会議室、更衣室、
シャワーが完備されます。この
改修で、日本陸上競技連盟から
国際大会が開催できる第2種公
認陸上競技場に認定されました。
当日は式典のあと完成を祝っ
て中学生男女の400メートルリレーと
立花小学校児童による伊万里太
鼓おどり、波多津小学校児童と
波多津東小学校児童による一輪
車のすばらしい演技が披露され
ました。

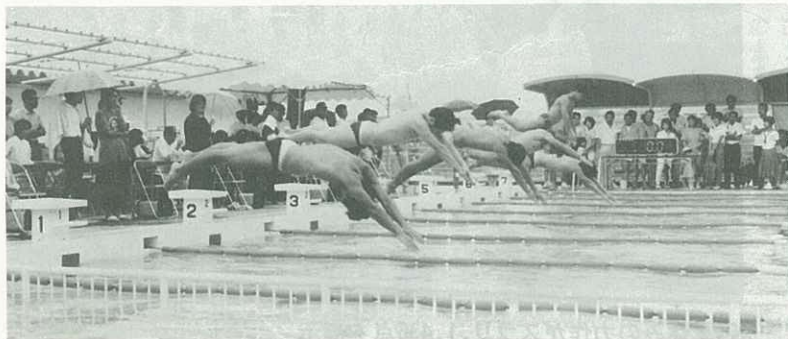
使用料は…

競技場改修に伴い個人で使用
する場合の使用料が定められま
した。使用料は、一般が1人1
回100円、小・中・高校生が50
円、12枚つづりの回数券は一般
が1,000円、小・中・高校生が
500円です。また専用使用料は
一般が半日3,000円、1日6,000
円、小・中・高校生が半日1,500
円、1日3,000円に改定されま
した。10月7日から一般使用が
できます。



改築中の管理棟

炎のまつり 第40回県体 水泳競技で好成績



第40回県民体育大会の水泳競
技大会が、9月6日立花小学校
で開かれました。大会は、町村
中学校区対抗と郡市対抗で行わ
れ、38種目、オープン2種目に
570人が参加し熱戦を繰り広げ
ました。伊万里市は、県の得
点となる中学校区対抗で2位に
入り、さい先のよいスタートを
きりました。
水泳以外の競技は、10月3、
4日に国見台ほか25の会場で行
われます。皆様のご声援をお
願いします。

第11回 市壮年野球大会 レッドピーコックス2連覇

第11回市壮年野球大会が市軟式野球連盟（吉原羊一郎会長）の主催で9月7日から11日まで、8チームが参加して国見台野球場で行われました。仕事の都合で全試合が夕方6時半からのナイターでした。

出場資格が40歳以上ということで、何でもないプレーがフェインプレーになったり、思わぬ珍プレーが出たり、ベンチの中は笑いの渦。中には50代の選手



のハッスルプレーなども見られ、若さいっぱい的好試合が展開されました。

成績は次のとおりです。

- 優勝 レッドピーコックス
- 2位 大川内体協
- 3位 名村造船所・山代体協

◎ オット、ストライク投げてよ

10月のスポーツ

25日（日）

- 東山代町3世代交流ゲートボール大会
8時半 東山代小学校
- 南波多町民レクリエーション大会
（グランドゴルフ・ミニバレー） 8時 南波多中学校

第5回正鶴会 弓道選手権大会

第5回伊万里正鶴会弓道選手権大会が、9月20日国見台弓道場で開かれ、市内外から出場した82人の選手は日頃の練習の成果を競いました。

成績は次のとおりです（敬称略）

- （男子）優勝 中島憲次（鹿島）
- 2位 麻生信一（唐津）
- 3位 橋村広光（鹿島）
- （女子）優勝 吉永由紀子（武雄）
- 2位 酒見真佐子（武雄）
- 3位 森トミ子（武雄）

大川内小卓球チーム

県大会初出場で優勝

8月30日県文化体育館で開かれた佐賀新聞学童オリンピック卓球競技大会に初出場した大川内小学校（七田千里校長）の卓球クラブが男子団体で見事に優勝しました。

大会は、県下から約100人が出場して行われ、大川内は昨年の優勝チーム鎮西クラブなどの強豪チームを次々に破り優勝し

ました。

選手は6年生の田中 亮^{りょう}くん、森 和哉^{わづか}くん、原 学^{まなぶ}くん、副島俊彦^{しゅんげん}で「よそのチームはみんな強そうで、初出場だから勝てると思わなかった」と話してくれました。指導した山下可先生は、「厳しい練習にもよくついてきた」とみんなの頑張りをほめました。



◎ 左から副島くん、田中くん、原くん、森くん、山下先生



小学生 消防スケッチ大会

市防火協会（久間平三郎会長）では、市内の小学生を対象に消防スケッチ大会を開催します。

- 日 時 10月11日（日）
9時～12時

※雨天のときは10月18日（日）

- 場 所 市消防本部訓練場
- ※画用紙は防火協会準備。参加賞があります。

模型飛行機大会

- 日 時 11月15日（日）
9時受付

- 場 所 立花小学校グラウンド

●競技種目

- 小型グライダー（幼児～小学3年）
- A級ゴム動力（小学4年～6年）
- B級ゴム動力（中学生、一般）

- 主 催 竹の子会
- 申込先 田中耕太郎
(☎21-4572)

※参加賞、入賞賞品あります。

伊万里鍋島焼の マスコットマーク募集中

大川内山の藩窯秋祭り実行委員会（川副敏郎会長）は、11月1日からの藩窯秋祭りに合わせて、伊万里鍋島焼のマスコットマークを募集しています。

- 応募方法 官製はがきか封書
- 応募期限 10月15日
- 応募先・問い合わせ先
伊万里市大川内町大川内山

伊万里焼総合展示場 マスコットマーク係（☎21-7293）

※優秀賞、アイデア賞あります。

- 旧軍人、戦没者遺族などの援護相談 10月16日（金）10時から 市役所1階第1会議室

ふるさとづくり へ奨励金

市は市内でふるさとの振興や特色づくりなどの活動を行っているグループや団体に「ふるさとづくり奨励金」を交付します。

- 募集期間 10月1日～11月30日

- 対象事業 地域づくりへの

①学習活動②振興策③活動事業
※公共団体から補助を受けている団体は除きます。

- 交付限度額

経費の半以内で①②は5万円
③は10万円までとします。

※お問い合わせは、市役所企画課（☎2111 内線402）まで

農地転用は 農業委員会へ

農地を農地以外の目的に利用するときは、県知事の許可が必要です。無断で転用すると法律違反となり、懲役や罰金を科されることがあります。

農地を転用するときは、必ず農業委員会（☎2111 内線363）へ相談してください。

年金証書は大切に

年金証書は、あなたが年金を受けている証拠となるものです。

年金に関する書類がいろいろ送られてきますが、扶養の申請や税金の申告に必要なものがあります。大切に保管してください。また1年に1回、年金の受給権を確認するために現況届を提出しなければなりません、忘れると年金が停止されますので注意してください。

暮らしの 総合相談所

わたしたちの日常生活は、何らかの形で行政（国・県・市・公社など）と深くつながっています。

たとえば年金や保険、道路、河川、税金、農地、登記のほか生活問題、家族関係などいろいろありますが、行政に対し相談したいことや苦情、意見、要望がある方のために特に暮らしの総合相談所を開設します。

お気軽においでください。

- 日 時 10月15日（木）
午前10時～午後3時
- 場 所 市役所4階大会議室

住宅相談日

住宅の新築や増改築を希望される方が安心して相談できる窓口を開設しました。

お気軽にご利用ください。

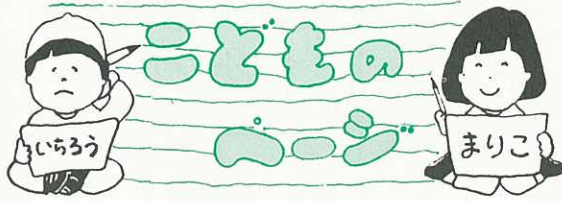
- 相談日 毎月第1、第3木曜
午前10時～午後3時
- 場 所 市役所市民相談室

身体障害者相談日

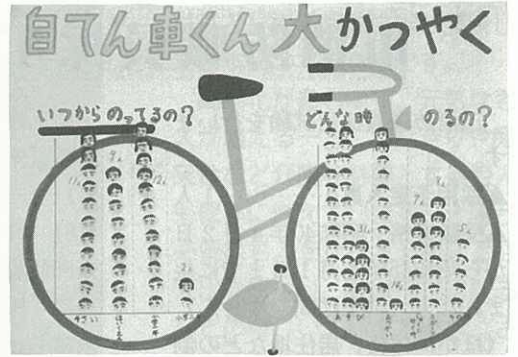
市身体障害者福祉協会は、障害者の福祉を図るため「身体障害者相談日」を設けました。県から委嘱を受けた身体障害者相談員が相談を受けています。どんなことでも結構です。

お気軽にご相談ください。

- 日 時 毎月第4水曜日
午前10時～午後3時
- 場 所 市役所市民相談室



ぼはなさいから
自てん車にのねてえよ



前田源吾くんの作品

市統計グラフコンクール発表

統計思想の普及と郷土理解を深めてもらうための市統計グラフコンクールに小、中、高校生133人から84点の出品があり、9月7日市役所で審査が行われました。

小学校3年生以下の第一部では、自転車に乗り始めた時期などを楽しく表した前田源吾くんの作品が特選に選ばれました。また優良学校賞は、大川内小学校と伊万里中学校が選ばれました。

入賞作品は、10月17日から25日まで伊万里玉屋に展示されます。準特選以上に選ばれた人は

次のとおりです。

- 〈第1部〉小学校3年生以下
 特選 前田源吾(南波多2年)
 準特選 { 川内久子・川原百合子
 (合作) 山本桃子・古河クミ
 (大川内2年)
 " { 石井知紀・瀬戸口豊寛
 梅崎貴子・小笠原梨恵
 (合作) (大川内2年)
 " 出口信太郎(大坪2年)
 〈第2部〉小学校4年生以上
 特選 脇山英之
 (合作) 田中直幸(波多津5年)
 準特選 { 大塚久恵・高松雅子
 (合作) 梅崎敬子(大川内6年)

- 準特選 { 井手知子
 (合作) 佐伯宏美(波多津5年)
 " 小松美和子(南波多6年)
 〈第3部〉中学校
 特選 吉武正憲(黒川3年)
 準特選 { 有浦規美子・松尾 要
 (合作) 古賀美保子(伊万里2年)
 " 内山直樹(伊万里2年)
 " { 野中 賢・前田洋一
 (合作) 栗田憲一(大川3年)
 〈第4部〉高等学校
 特選 平山美鈴(伊商3年)
 準特選 { 松尾美紀・福田照美
 (合作) 松尾孝子・小柳弘美
 (伊商2年)
 " { 原 孝子・松尾理留子
 (合作) 松尾亘子(伊商3年)

夏の思い出... 白馬村で「いまりサマーキャンプ」(8/17~21)

今年初めて行われた市少年国内研修事業「いまり・サマーキャンプ」が、8月17日から21日まで4泊5日で市内小中学生40人が参加して、長野県の白馬村で開かれました。



8月17日伊万里を出発、瀬戸内海をフェリーで1泊、2日目は東神戸港から目的地の白馬村へ。白馬村では、2日間の民宿生活で、伊万里では体験できない大自然の中での川遊び、キャンプファイヤーなどを楽しみました。4日目は黒部ダムなどを

見学し、3,004^{おやま}の雄山(立山)に登りました。初めて踏み入れた3,000^{おやま}の山、中には泣きながら登る子もいましたが、励まし合って全員が頂上に立ち、大歓声を上げました。それぞれに貴重な体験を夏の思い出にして、21日伊万里に帰ってきました。

3,004メートルの雄山へアタック

